

【 人間健康科学教育研究領域 】

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
人間健康科学研究演習Ⅰ	4	小川 寿美子	“健康とは何か”を広く考える学問である公衆衛生学を広く捉える力を養うことを目標とする。具体的には、健康のための実践的行動力を養うため、ポートフォリオを通じて公衆衛生学に関するプロジェクト研究を体系的におこなう。
人間健康科学研究演習Ⅰ	4	向山 貴仁	本演習は、体育・スポーツを対象としたスポーツ科学分野の研究活動に関する演習である。演習Ⅱで取り組む修士論文に向けて、各自の興味関心や課題とする事項についての検討を行い、テーマ設定・先行研究の検討・論文構成、研究計画の具体化を図る。
人間健康科学研究演習Ⅱ	4	小川 寿美子	“健康とは何か”を広く考える学問である公衆衛生学を広く捉える力を養うことを目標とする。具体的には、論理的な文章力と文献の読解力を養うための基礎固めをするため、公衆衛生学に関する数多くの論文、資料を精読し、多方面からの知識を涵養し、修士論文を仕上げる。
人間健康科学研究演習Ⅱ	4	向山 貴仁	本演習は、体育・スポーツを対象としたスポーツ科学分野の修士論文をテーマとする院生のための演習である。 演習Ⅰで設定した各自のテーマを修士論文の完成に向けて研究計画、論文構成、資料収集、論文執筆等の作業の具体化を図る指導をおこなう。

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
健康医学・保養特論	2		<p>健康学の専門家として幅広い分野で活躍するためには、医学的エビデンスに基づいた健康づくりを理解し活用する手法を身につけることは重要である。これらが出来た上に、広義の意味での多様な健康の概念にもとづく考え方やその実践があることが重要である。本講義では、主に身体健康を構成する運動・栄養・休養を医学的科学的な立場から理解し、この知識の理解のもとに身体健康をミクロからマクロ、ホリスティックに考えて行く。特に、最新のアンチエイジング医学から得られる健康学を導入する。</p> <p>これらを理解し会得することで、新しい知識と考え方のもとに、異なる様々な地域や環境における健康づくりを考えることの出来る基礎力を身に付けることが出来るようになる。また、本講義では、これらを統合的に効率よく具現化する手法の一つとして、保養についての専門的知識も会得する。</p>
公衆衛生学特論	2	小川 寿美子	<p>戦前および戦後における沖縄の公衆衛生学は、米国民政府の指導のもと、本土にはみられない制度が導入され、独特の歴史を歩んできた。本講義では、その歴史を体系的に検証し、そこから現代の公衆衛生学の在り方に生かせる教訓は何かを考える。特に、戦後の沖縄の状況と近しい地域として、現在の途上国の保健医療問題と合わせて考察する。</p> <p>It is available to provide the lecture in English, if it is strongly requested.</p>
人間健康科学研究方法特論	2	小川 寿美子	<p>健康・スポーツ科学領域の多くの研究では、身体パフォーマンスを測定したり、健康を促進もしくは阻害する要因を推定する作業などを行う。この領域における研究すべきテーマや問題は多く、様々な要因が複雑に絡み合っているため、研究アプローチも多岐にわたる。そのため健康やスポーツに関する現象の諸側面を単純化、数値化、視覚化し、客観的に表現する手法（データ解析）は、健康・スポーツ科学研究にとって欠かすことのできないものである。同特論は、研究の取り掛かり方から、研究計画の遂行方法、データの処理方法と統計解析方法といった研究の基盤となる一連の流れを受講生が系統的に理解し実践できる知識を獲得することを目的とする。</p> <p>It is available to provide the lecture in English, if it is strongly requested.</p>

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
地域保健学特論	2	吉川 千恵子	健康・ウェルネス、ヘルスプロモーションの概念を基礎として、地域社会・生活・文化から生ずる健康問題や、現在、国の健康施策として展開している「健康日本 21（第2次）」が沖縄県や市町村でどのように実践されているか、各健康レベルとライフサイクルの視点から考究する。また、地方自治体における健康政策づくり、保健計画策定・施策化と予算のしくみ、それに対応する地域保健医療活動の要素やツールを理解し、人々の健康支援などにおいて総合的企画者・協働的実践者、地域保健医療システムの開発に参画する。さらに教育研究者としての生きる知識と技法を会得し、沖縄の地域における実践例から保健医療問題と解決策を考察する。
健康・スポーツ指導特論	2	高瀬 幸一	健康指導やスポーツ指導の現場においては、専門的な知識を如何にして効果的に伝えるかが重要になる。今日の健康科学やスポーツ科学の進歩はめまぐるしいものがあり、「健康科学やスポーツ科学」に関する正しい理論・知識を習得し、それを実践していく手法（スキル）を身につけることが必要となる。 また、超高齢化社会の今日、一般健常者や中・高齢者などの運動未経験者の健康・体力特性に視点を置いた運動指導は、十分になされているとは言い難い現状がある。 本特論は、日進月歩する分野における最新の理論を論じながら、日本における健康・スポーツ理論について考察する。
伝統舞踊特論	2	花城 洋子	比較動作学の視点から、世界に伝わる民族の伝統舞踊についてその舞踊特性を捉え、伝統文化について理解することが出来る内容を提供する。さらに、ノンバーバルコミュニケーションからみた身体表現というテーマで、日常生活における身振りしぐさや所作等について観察・調査をしてプレゼンテーションを行う。
伝統武道特論	2	盧 姜威	この授業科目において、武道に内在する日本文化の本質を理解し、スポーツと異なる日本伝統武道の特質の理解を深めていくと同時に、武道全般にわたる基礎知識を的確に把握する。その上、沖縄伝統空手道の歴史的変遷について考察していく。

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
国際スポーツ・体育史特論	2	向山 貴仁	<p>体育・スポーツの生成及び発展について、欧米諸国や近代社会におけるスポーツと国民教育、学校体育の展開及び、我が国の学校体育について考究する。</p> <p>体育・スポーツの制度、目的、内容、方法、教員養成等の変遷を対象として分析を行うとともに、内外の論文や資料を講読しながら考察・討議する。</p>
トレーニング特論	2	竹内 伸也	<p>発育・発達途上の青少年に対する体力づくりは、Training（鍛錬）なのか、Exercise（運動）なのか、その境界はあるのか、一步間違えれば発育、発達に影響を与える危険性がある。</p> <p>また、中・高年者の体力づくりでは、運動の内容をどのように設定するか。更には、競技者の Training には限界があるのか、世界の超一流選手の Training とは如何なるものか。運動生理学・人間機能学を背景に総合科学的・社会学的に究明する。</p>
ヘルスプロモーション・ウェルネス特論	2	杉本 英夫	<p>ヘルスプロモーション・ウェルネスについての理念は現代の先進諸国における健康政策においては不可欠な理念である。現在そのことを理解し、その理念で健康政策を立案する基本的能力を身につけたウェルネス・マネージャー的人材は幅広く求められている。ヘルスプロモーション・ウェルネスの理念は現代社会における健康政策のパラダイムとも言える。</p> <p>本講義ではその理念の起こりと歴史的背景、健康観についての歴史的変遷、健康政策への活用と評価の視点を講じ、ヘルスプロモーション・ウェルネス理念を理解した健康政策立案への基本的能力を習得することをねらいとする。</p>
健康栄養学特論	2	新城 澄枝	<p>生活の中での食事の意義や現代における食生活と健康問題との関連について理論・知識を深める。現代の食の課題であるメタボリックシンドロームの概念に基づく生活習慣病予防や食品の安全・安心、食を選択する能力を培い、また、沖縄の食文化に触れ長寿との関連で学習を深め、健康の為の食の自己管理能力を高める。</p>